

MIDI SEQUENCER

MSQ-100

MIDI DIGITAL KEYBOARD RECORDER

¥79,000



ミュージック・クリエイター必携の
MIDI専用ポリフォニック・シーケンサー。

ライブ・ステージはもちろんのこと、クリエイティブ・ミュージックにおけるマルチトラック・レコーディングの世界まで、音楽創作のノウハウを一挙に飛躍させる画期的新製品MSQ-100。

MIDI規格の採用で、演奏に必要なあらゆる情報を記憶させることが可能になり、従来のように単なるシーケンサーとしてではなく、ライブ・パフォーマンスにおけるプレイヤーの感性を余すところなく表現することができます。

また、最新デジタル技術の導入により、従来のようなテープ録音による音楽創作での問題点(ノイズ、部分編集、編集作業など)を一挙に解決。音楽創作に専念できる簡単操作のデジタル・マルチトラック・レコーダーとして使用できます。

MIDI楽器群にMSQ-100を一台加えることによって、あらゆるMIDI情報を最大限に生かしたオーケストレーションが実現します。

リアパネル



- 最大メモリー容量約6100音。コンパクトながら、演奏に必要な多量の情報をスムーズに記憶します。
- 入力は、リアルタイム・ロード(1/4、3/4)とステップ・ロード(1/4、3/4、2/4、3/8、1/8)の2通り。入力したいデータにせながらロードすることも可能です。
- オーバー・ダビング機能装備(リアルタイム・ロード時)。すでに入力済のデータにあわせて、新しいデータを重ねて記憶させられます。任意の小節のみオーバー・ダビングさせることもでき、何回でも重ねられますので、MTR(マルチトラック・レコーダー)のように使用することも可能です。
- MIDIチャンネル・シフト機能装備。入力するデータのMIDIチャンネルを、他のMIDIチャンネルへ変換して記憶させられます。ですから、MIDIチャンネルが1に設定されている楽器で、他のMIDIチャンネルの演奏データを入力することが可能です。
- 豊富なエディット機能を搭載。簡単な操作で、さまざまな編集作業が行なえます。
 - フォワード・メジャー/バック・メジャー：1小節単位で、小節を進めたり戻したりすることができます。
 - コピー：データを小節単位でコピーできます。
 - イレース：指定した小節以後のデータをすべて消去します。
 - インサート：小節単位でデータの挿入が行なえます。

プ・ロード(1/4、
あわせて、組み合わせ

- デリート：小節単位でデータの削除が行なえます。
- MIDIチャンネル・イレース：任意のMIDIチャンネルの、指定した小節以後のデータを消去することができます。例えば、オーバー・ダビングによりデータを入力したときに、任意のMIDIチャンネルのみ修正することができます。
- テンポ・チェック：メトロノームのみが動作します(データは出力されません)ので、ライブ時でのテンポ設定が自由に行なえます。
- 液晶ディスプレイを採用。メモリー残量やテンポ、MIDIチャンネル、編集モードなどが容易に確認できます。
- MIDI端子以外に、SYNC IN/OUT端子も装備していますので、従来のSYNC端子装備の楽器(TR-606、TB-303、MC-202等)との同期演奏も可能です。
- テープ・インターフェイス機能を内蔵。作成したデータをテープに保存できます。
- スタート/ストップはペダル・スイッチ(DP-2)によってもコントロール可能です。
- さらに、リアパネルのファンクション・スイッチで、キー・ベロシティ情報、ペンダー/コントロール・チェンジ情報、アフター・タッチ情報を受信するかを選択できますから、使用する楽器にあわせて設定が行なえます。例えば、キー・ベロシティ情報を必要としない楽器の場合、スイッチをOFFにすることで、メモリーをより有効に活用できます。
- 小型・軽量ですので、持ち運びがラクに行なえ、スペースもとりません。

●メモリー容量：単音、キー・ベロシティなしで約6100音 ●モード・スイッチ：PLAY ONLY、LOAD/PLAY、DATA TRANSFER ●クロック・スイッチ：INT/MIDI、SYNC ●テンポ・ボリューム：1=35~240 ●メトロノーム・レベル・スイッチ：HIGH/LOW/OFF ●コントロール：ロード・ボタン、リセット/ペリファイ・ボタン、ストップ/シフト・ボタン、プレイ/セーブ・ボタン、リピート・プレイ/(MIDI/TAPE)ボタン、バック・メジャー/バック・ステップ/コピー・ボタン、フォワード・メジャー/フォワード・ステップ/イイレース・ボタン、タイ/ロード・モード/インサート・ボタン、レスト/ディスプレイ/デリート・ボタン、メジャー・エンド/MIDIチャンネル・シフト/テンポ・チェック・ボタン ●ロード・モード：1/4、3/4、OVER DUB、1/4、3/4 ●液晶ディスプレイ：1 ●ファンクション・スイッチ：メトロノーム・ビート(ON/OFF)、キー・ベロシティ(ON/OFF)、ペンダー/コントロール・チェンジ(ON/OFF)、アフター・タッチ(ON/OFF)、MIDIアウト(MIX OUT/INT ONLY)、MIDIアウト/スルー(OUT/THRU)、テープ・セーブ・レベル(L/H)、テープ・ロード・モード(I/II) ●接続端子：テープ・ロード・ジャック、テープ・セーブ・ジャック、MIDIイン、MIDIアウト、MIDIアウト/スルー、DINシンク・イン、DINシンク・アウト、スタート/ストップ・ジャック(DP-2)、DCイン ●消費電力：3W ●外形寸法：226(W)×223(D)×57(H)mm ●重量：1.8kg ●付属品：ACアダプターPSA-100、MIDI/シンク・ケーブル(1.5m)×2

Roland



LET'S TRY MSQ-100

MSQ-100をキーボードと接続して、演奏を入力してみましょう

I. MIDI楽器との接続

MSQ-100とMIDIキーボードを右図の様にMIDIコードで接続します。
キーボードにはアンプまたはヘッドホンを接続し、モニターできるようにします。



※ MSQ-100のリアパネルのディップスイッチ5をONにして下さい。

II. 演奏データの入力

- (1) パワーをONにします。
- (2) 写真の様にMODEをLOAD/PLAYに、ClockをINTにセットし、METRONOME LEVELを選択します。



- (3) リセット・ボタンを押します。



- (5) 演奏が終わったらストップ・ボタンを押します。



- (4) ロード・ボタンを押して、メトロノームを2小節聞いた後、演奏を始めます。

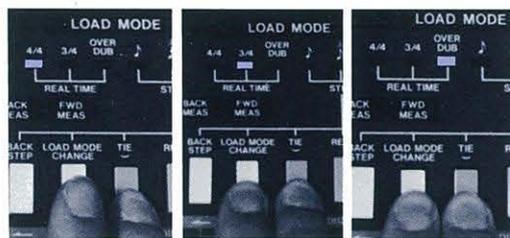


- (6) それでは、演奏させてみましょう。まずリセット・ボタンを押し、次にプレイ・ボタンを押します。テンポは、テンポ・ツマミで自由に変わります。



III. オーバー・ダブ さらに、MSQ-100のオーバー・ダブ機能を使って、今入力した演奏を聞きながら、その上に新しい演奏を重ねてみましょう。

- (1) ロード・モード・ボタンを押しながら、ロード・モード・チェンジ・ボタンを押してオーバー・ダブ・モードにします。



- (2) リセット・ボタンを押します。



- (4) 演奏が終わったら、ストップ・ボタンを押します。



- (3) ロード・ボタンを押して、メトロノームを2小節聞いた後、演奏を始めます。前の演奏を聞きながら、新しい演奏を入れていくことができます。

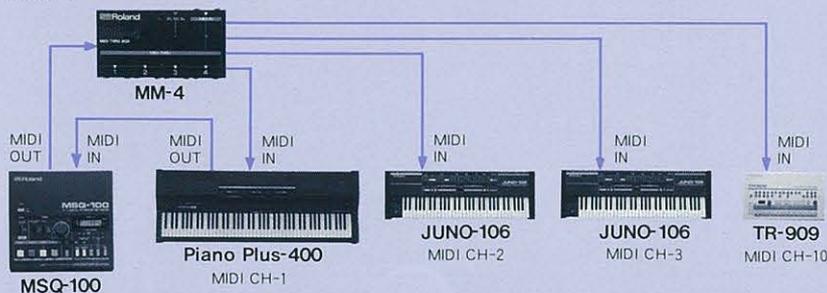


- (5) リセット・ボタンを押し、次にプレイ・ボタンを押します。最初に入れた演奏と、オーバー・ダブした演奏が同時にプレイされます。



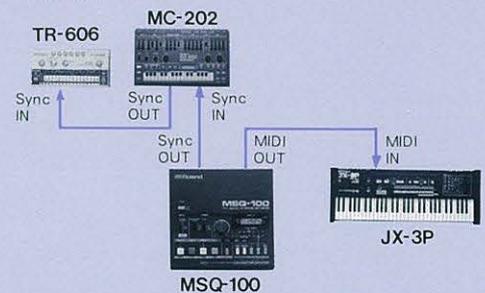
MSQ-100を中心としたSystem

接続例-1



● MSQ-100のMIDIチャンネル・シフト機能を使うと、上の図の様に、ピアノプラス400一台で、任意のMIDIチャンネルの演奏データが入力できます。

接続例-2



● MSQ-100には、従来のシンクロ端子も装備していますので、MC-202、TR-606等とのテンポ同期も可能です。

※MSQ-100のお求めは……………

Roland

ローランド株式会社

本社 ● 〒559 大阪市住之江区新北島3-7-13 ☎06 (681) 8661
 営業所 ● 札幌 ☎011 (281) 0708 ● 仙台 ☎0222 (25) 6221 ● 東京 ☎03 (251) 5595 ● 大宮 ☎0486 (45) 7737 ● 横浜 ☎045 (313) 3841 ● 浜松 ☎0534 (37) 1231 ● 松本 ☎0263 (26) 8853 ● 名古屋 ☎052 (241) 4332 ● 大阪 ☎06 (681) 8661 ● 広島 ☎082 (247) 2731 ● 福岡 ☎092 (471) 1481
 ショールーム ● 東京 ☎03 (257) 1301 ● 大阪 ☎06 (346) 0552